

講義名	ファッション文化論			授業形態	
担当教員	道前 美佐緒	開講期・曜日・時限	後期 水曜日 1 時限		
		単位数	2	履修開始年次	3 年生

#### 主題と概要

ファッション（流行）は、ある時代と地域の生活文化を反映しています。この授業では、服装や髪型、装飾品、居住空間、食べ物や娯楽など、人々の生活に関わるものを対象とします。装いは、暖をとったり、雨濡をしのいだりといった合理的な理由のみではなく、芸術性やメッセージ性を含んでいます。その流行と社会現象や人々の意識との連関を考察します。また、神戸の街のフィールドワークでは、新たな視点で神戸ファッションを発見することができます。三宮などの調査地への交通費は自己負担となります。

#### 到達目標

1. ファッションについて社会的な視点を持つことができる。
2. 服飾史から文化形成のあり方を理解できる。
3. ファッションと服飾制やサステナビリティについて理解できる。
4. ジェンダー、グローバル化、SDG's についての視点を持つことができる。
5. フィールドワークを通じて、課題や地域資源の再発見する視点を持ち、それを仲間と共有し、ディスカッションすることができる。

#### 提出課題

レポートとプレゼン資料

#### 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

レポートやプレゼンテーションについては、授業内でフィードバックします。

#### 評価の基準

レポート 50%  
フィールドノート 50%

#### 履修にあたっての注意・助言他

ファッション情報誌やSNSなどから情報収集し、授業で紹介する参考図書にも積極的に目を通してください。フィールドワークにおいては、事前の情報収集を行い、調査の注意点を理解し、それを遵守してください。必要に応じて、参考文献を紹介しますので、事前に読み、意見をもって授業に参加してください。A5程度の小さなノートを一冊準備してください。

#### 教科書

.使用しない。

#### 参考図書

.なし。

#### その他

必要に応じて資料を配布、もしくは、ポータルにアップします。

#### 授業計画

1. ガイダンス：装いのフォクロー
2. 身体加工と身体装飾
3. 階級とファッション
4. 階級とファッション
5. ジェンダーとファッション
6. 空間のファッション
7. ファッションフード
8. 神戸ファッション
9. フィールドワーク 実施計画
10. フィールドワーク 事前調査グループワーク
11. フィールドワーク 街歩き
12. フィールドワーク 情報分析
13. フィールドワーク プレゼン資料
14. フィールドワーク プレゼンテーション
15. まとめ：不易と流行

#### 授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/>	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/>	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/>	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

#### 準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

次の授業で扱うテーマを伝えますので、それについて情報収集をして、自分の意見を持とう心がけてください。また、授業で得た様々な意見や知見を整理し、まとめてください。（予習・復習各120分程度）。フィールドワークでは、事前の情報収集や、調査後のフィールドノートの整理が重要です。また、グループワークですので、自身の役割を責任をもって行ってください。

#### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

社会的な視点で人間の装いとファッションについて考察することは、現代社会の課題や可能性を見出す契機になります。新しい文化を創造する発想力や分析力、提案力を向上させることは、本学の学位認定・学位授与の方針と一致します。

#### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業のテーマに基づき情報収集したうえでディスカッションやグループワークを行います。それらを通して、新たな発想や他者理解の視点を得ることができます。

#### 実務経験の有無及び活用

実務経験あり。（公社）日本ブライダル文化振興協会任命 ブライダルコーディネーター職種技能検定「指定試験機関技能検定委員」として、国家検定ブライダルコーディネーター技能士の問題策定会議に参加し、1、2級の実技試験の試験官を務めています。ホテルハンゲットマネージャーコンベンションでの講演や若手コンベンションの審判員などを勤め、業界の発展に努めてきました。また、行政の職業の課題である結婚率アップの為、四日市市の婚活支援事業に参加するなどしてきました。ブライダルプロデュース会社経営、結婚式場顧問など、ブライダル業界を中心に広く企業の人材育成を担った経験を活かし、これからのブライダル業界に求められる発想力や実行力を養います。

#### 備考